

AJ

AQUA JOURNAL
Nature Aquarium
information magazine
Jan. 2024 100YEN

vol.
339

特集 レイアウト 素材

ADA LAYOUT MATERIAL

[巻頭グラビア] **NATURE IN THE GLASS**

樹靈の聖域

ADA Review 「ADA 新レイアウトマテリアル KUMUI」

EVENT REPORT

「ADA ウエルカムティ」

「ADA ワークショップ イン 南アフリカ」

DOOA STYLE #25

「ハルダにおける素材と植物の相性」

CLOSE UP JUNGLE PLANTS #05

LOVE ADA GOODS #17

ネイチャーコラム 第34回

「箱を架け橋に」





©AQUA DESIGN AMANO

DATA	
撮影日	2023年10月20日(ADA)
制作	本間 裕介(レイアウト制作・文)
水槽	キューブガーネン W1,800×D600×H600(mm)
照明	ソーラーRGB ×3(1日8時間30分点灯)
ろ過	スーパージェットフィルター ES-2400(バイオリオG)
素材	ホーンウッド、山水石
底床	アクアソイル・アマゾニア Ver.2、パワーサンド・アドバンスL パクター100、クリアスパー、トルマリンBC

C O ₂	CO ₂ バレングラス・ビートル500、 CO ₂ ビートルカウンターで1秒に5滴(タワー使用)
A I R	リリィパイP-6によるエアレーション 夜間消灯時15時間30分
添加剤	ブライティK、グリーンブライティ・ミネラル、グリーンブライティ・アイアン
グリーンブライティ・ニトロ	グリーンブライティ・ニトロ
換水	1週間に1度 1/3
水質	水温25°C pH:6.2 TH:50mg/L

[樹靈の聖域]

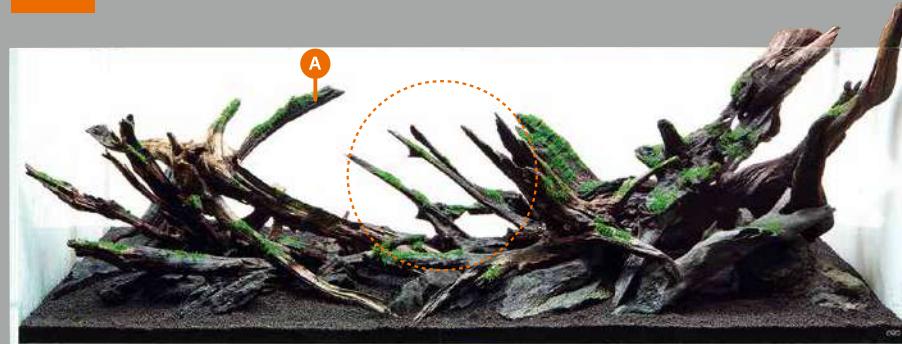
流木のもとに水草や魚たちが寄り集まり、多様な生き物が長い間暮らし続けているような風景をイメージして制作した。これまでに自分が赴いた先々の自然から、木々の質感や石の並びなどの要素を取り入れて構図の構成要素とし、自然の植生をよく理解することは、水草の配植バランスを決める上で重要である。水槽の中に自然生態系を再現することがネイチャーアクアリウムの本質であり、その極められた美しさを引き出すためには、長期維持の概念が欠かせない。堂々とした流木の存在感と時間経過とともに水草が繁茂し神秘さが増した聖域のような場所を目指した。

水草	ヨーロピアンクローバー スタウロギネ・レベンス(BIO)* コブラグラス・ブラジリエンシス(BIO)* ヘアーグラス(BIO)* エキノドルス・テネルス(BIO)* エキノドルス・ホレマニー・レッド エキノドルス・グリーンペッパー クリプトコリネ・アルビダ クリプトコリネ・ウェンティ・グリーン(BIO)* クリプトコリネ・ウェンティ・ブラウン(BIO)* クリプトコリネ・キリアータ クリプトコリネ・ベッチャ クリプトコリネ・バランサエ クリプトコリネ・スピラリス タイガー(BIO)* ルドウジア sp. クリスタル エイクホルニア・ディバーシフォリア ボタモゲトン・ガイ ラージリーフハイゴ ツーテンブル	Marsilea crenata Staurogyne repens Lilaeopsis brasiliensis Eleocharis acicularis Helanthium tenellum Echinodorus horemanii 'Red' Echinodorus 'Green Pepper' Cryptocoryne albida Cryptocoryne wendtii 'Green' Cryptocoryne wendtii 'Brown' Cryptocoryne ciliata Cryptocoryne petchii Cryptocoryne balansae Cryptocoryne spiralis 'Tiger' Ludwigia sp. 'Crystal' Eichhornia diversifolia Potamogeton gayi Hygrophila stricta Hygrophila angustifolia	クログワイ ブリクサ・アウヘルティ レッド エリオカウロンsp. ソーシャルフェザーダスター(BIO)* クリナム・アクアティカ(ナローリーフ) シベルス・ヘルフレー ¹ アヌビアス・アフゼリイ アヌビアス・ハスティフォリア ミクロソラム・ブテロップス ミクロソラムsp.トライアント・ナロー ボルビティス・ヒュエロッティ ブレミアムモス ※ ヴィローモス(モスパック)※ ラスボラ・サラワクエンシス ラスボラ・エスペイ インドワーフグリーンバルブ チョコレートグラミー ¹ サイヤーズフライングフォックス オシンクルス ヤマトヌマエビ	Eleocharis kuroguwai Blyxa auberti 'Red' Eriocaulon sp. 'Social Feather Duster' Crinum calamistratum Cyperus helferi Anubias afzelii Anubias hastifolia Microsurum pteropus Microsurum sp. 'Trident Narrow Leaf' Bolbitis heudelotii Riccardia chamedryfolia Taxiphyllum barbieri Rasbora sarawakensis Trigonostigma espei Pethia phutunio Sphaerichtys osphromenoides Crossochelus oblongus Otocinclus sp. Caridina multidentata
魚種			※はADA生体製品ラインナップです。	

造形的な構図骨格をベースに 長期維持によって 成熟した水草景観

構図

迫力と遠近感を意識した構成



ウィローモスの活着

ウィローモスを活着させることで木肌の印象が適度に和らぎ自然感が増した雰囲気に。

ホーンウッドは形や大きさのバリエーションの豊富さから組み合わせの自由度が高く、造形的な構図や迫力ある構図を組むことに適している。本水景では、基本の凹型構図に倣いつつ、右端に大きめのホーンウッドを配置して陰影的印象を強め、構図骨格のポイントである中央の3つ並ぶホーンウッドに対し、より遠近感を感じられる構成とした。

2023年1月20日 撮影



造形的な構図に比例するように、前景から中景は緻密に水草が混栽され、水草の多様さを意識した配植となっている。対して背景はテーブ状水草を植栽し、開放的な雰囲気を感じられる構成でまとめられている。

2023年1月23日 撮影

植栽

植栽で変わる 流木の印象



シダ同士の組み合わせ

自然感を高めるようにミクロソラムとボルビティスを組み合わせて植栽した。理想の配植・配置のバランス感を維持するためには、シダ同士の生長差をよく観察した上で、葉や株の間引きを行うなど適切な葉数の調整が肝心。

下草の混栽における注意点



エキノドルス・テネルスやヨーロピアンクローバーなど生長過程に差がある5種類を下草として混栽している。このような配植をする際は、ただ雑然と混栽してしまうと野暮ったい印象になってしまうため、生長速度や葉色の違いなどをよく理解し、適切な植栽量を意識したい。

D ルドヴィジア sp. クリスタル



本種の魅力はトリミングと適切な栄養素添加で発揮される。水景を華やかに彩るとともに凹型構図のアクセントとして中央の空間の印象を強調させる効果がある。

E シダ類の着生表現



葉の大きさに違いがあるミクロソラムsp.トライアントナローとミクロソラム・プロロップスを混栽して自然感ある立体的な造形に。流木を覆うように生長した株は時間経過を強く感じさせてくれる。

完成

時間経過で増す 水草たちの味わい深さ

適切に維持管理がなされた水草たちが、長期維持によって成熟し水景全体が趣のある様相となった。前景、中景、背景と水草を植え分けるナイチャーアクアリウムの様式美によって美しい階層構造が生まれている。



2023年10月20日 撮影

F 下草の混栽景観



エキノドルス・テネルスの赤、スタウロギネ・レベンスの緑といった色の違いと、葉形・草丈の差異が、流木と石が入り組んだ構図構成と相まって、草むらのような野趣に富んだ下草景観となつた。

G クリプトコリネの真価

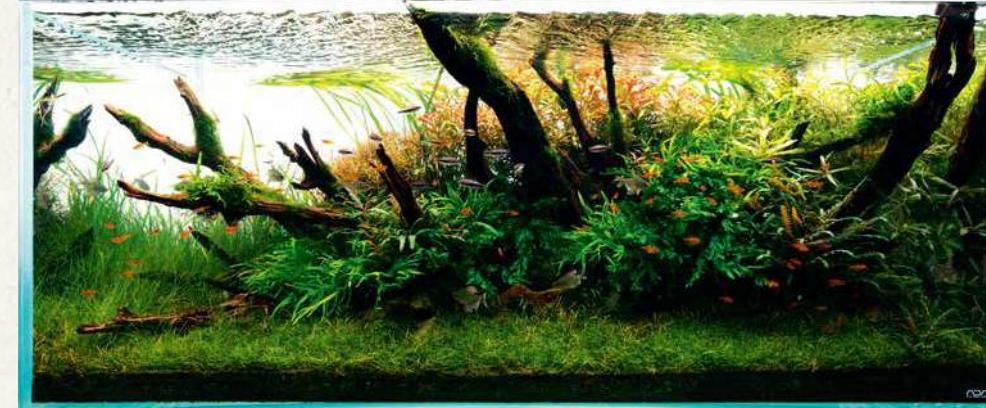


中景草の定番種クリプトコリネだが、その独特な味わいは長期維持によっていっそう深みを増していく。葉裏の茶色味は、他の水草にはない色彩で景観に落ち着きを与えるボラの体色とも相性がいい。

[SPECIAL FEATURE]

ADA LAYOUT MATERIAL

レイアウト素材となる流木や石は、ネイチャーアクアリウム制作には欠かせません。それはあくまで個性であり、あえて使うことも武者修行(?)。良くも悪くもレイアウターの創造力しだいと言えるでしょう。そんなところも天然素材ならではの趣向です。ここでは、定番のレイアウト素材から今秋リリースされたばかりの新素材も含めてご紹介します。この冬、新たな素材と巡り合ったら、レイアウト制作に没頭してみてはいかがでしょうか。



HORN WOOD ホーンウッド

枝分かれは少なく、カーブしているものや直線的な部分があるものまで天然素材ならではの形。茶色～赤茶色の色味が深みあるレイアウトに仕上げる。



BRANCH WOOD ブランチウッド

多数分岐した枝どうねりなど細やかな枝表現が特徴の流木です。流木の根元が塊状になっている場合は活着性水草や中景草でカバーしたい。



SLIM WOOD スリムウッド

細身で直線的な枝々が飛び出したやや鋭い印象の流木です。枝の角度に注意しながらウイローモスや活着性水草を配植して緊張感を緩和することがポイント。



石

ISHI

石組は一見単純にも思えますが、その配石自体が観賞の対象になるため、一つの石が担う役割は大きくその配石は難しいと言えます。そのため、石の表情や角度を考慮しながらの素材選びが重要になってきます。王道の三尊石組、山岳や岩礁をイメージしたスタイルなど、石材の種類と配石技術によって表現の幅が広がります。



W600×D300×H360(mm)



RYUOH STONE 龍王石

ブルーグレーと白い脈、刻まれた皺が特徴。凹凸の程度や色合いはバリエーションに富んでいるため、表情の近い石を選びレイアウトしたい。



UNZAN STONE 雲山石

天然火山岩を山のように加工したもので、造形が美しいためビギナーにもおすすめ。モスを活着させやすく、Sサイズ以上では佗び草500を配植できる窪みもあり表現の幅が広がる。



W1,200×D500×H500(mm)



W1,800×D600×H600(mm)



SANSUI STONE 山水石

山水画の山のような印象で、独特な層状が目を引く溶岩石の一品。石の表面はざらつき、ウィローモスなどを活着させやすくなっている。



KEI STONE 渓石

厚く角ばっており、黄土色や赤褐色などが混ざった暖色系の石。渓石のみでの石組の他、優しい色味を活かし流木を支えるときの配石やガレ場の表現にも。



W450×D270×H300(mm)



W1,200×D500×H500(mm)



OHKO STONE 黄虎石

黄褐色と特徴的な多数の虫食い状の窪みが魅力の石。個性的でドライな印象ではあるが、ブランチウッドと組み合わせでは自然な風合いとなる。



YAMAYA STONE 山谷石

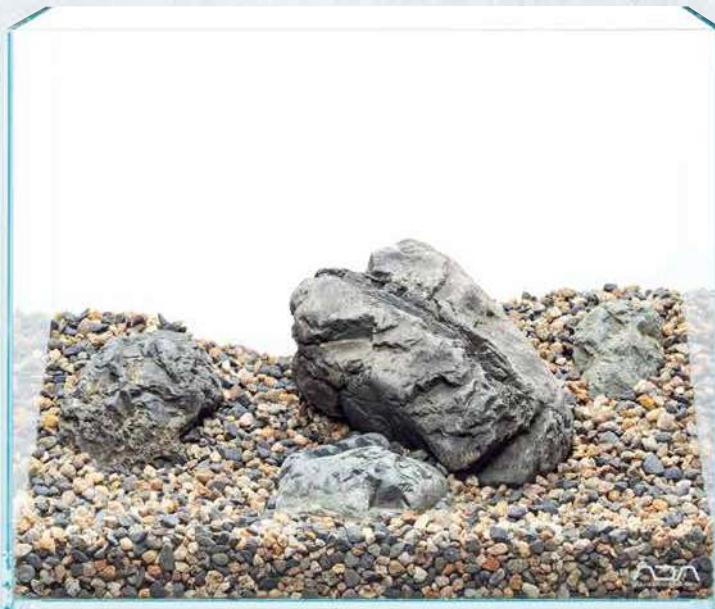
黒に近いグレーで、厚く角ばっている。石の形状を見せるというよりはランダムに積み上げ自然な石垣や起伏を表現したり、流木の支えに適している。



GATTO STONE

ガットストーン

全体的にライトグレーの丸い川石のような印象で、窪みや溝は角ばったり直線的な凹凸で荒々しい迫力の表情を見せる。それぞれの表情をよく観察しながら、溝が垂直や水平なラインにならないように配石することがポイント。



LICHEN STONE

ライケンストーン

独特の皺や白い脈は龍王石に近いが、全体的にライトグレーで角の丸みを帯びた石。皺の様子を活かしつつ盛土を施して配石するだけでカルスト台地のような表現ができ、立てれば桂林の山々のような景観が表現できる。硬度が上がりやすいため使用量や水草の選定には注意したい。



JAGURE STONE

ジャグレストーン

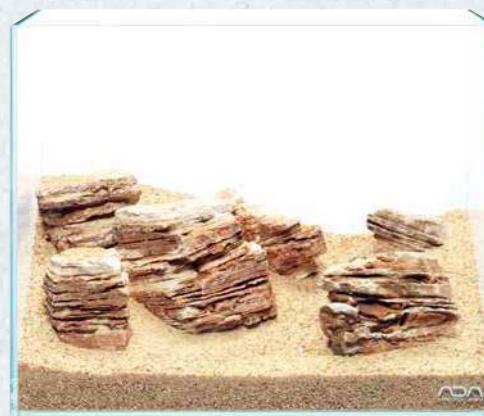
八海石を彷彿させる色味と窪みは、石組レイアウトでこそ活かしたい。川石ならではの表情は水や時の流れを感じさせる。重たい石のため無理な角度にすると石やソイルが崩れる可能性があるため、良い表情で安定する位置を丁寧に見極めたいところ。



TANGERINE LAYER STONE

タンジェリンレイヤーストーン

ミルフィーユのように重なる層が特徴的で、ほとんどが暖色系だが中には青味がかるものもある。ブロック状の形が多いが、特徴的な横層面を見せる配石を施したい。底床を盛りつつ奥行きを出すような配石がおすすめ。



BLING STONE

ブリングストーン

溶岩のような層状と凹凸が個性的な石で、濃いグレーに含有鉱物が煌めく。比較的小ぶりのものが多く、乱積みや流木との併用に適している。写真のように素材感を活かし一体感が出るように積み上げてみるのも面白いが、植栽スペースはしっかりと確保したい。



新 素 材

SHIN

素

SOZAI

材



ROOT BRANCH

ルートブランチ

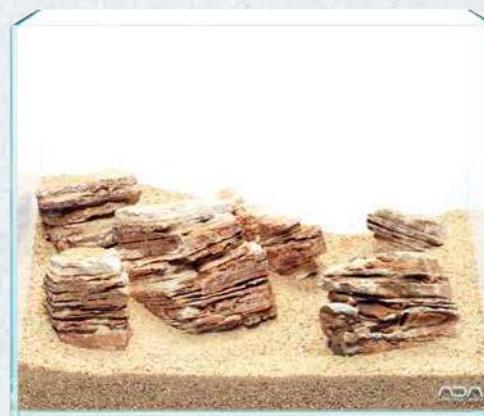
太さ5~10mm程の小枝で、うねるものや枝分かれしたものまでバリエーションに富む。石や流木に添わせることで、絡まる蔓や木根といったディテール表現に役立つ。太さはそろえずランダムにすることで自然感が演出できる。固定には瞬間接着剤などの使用が便利。

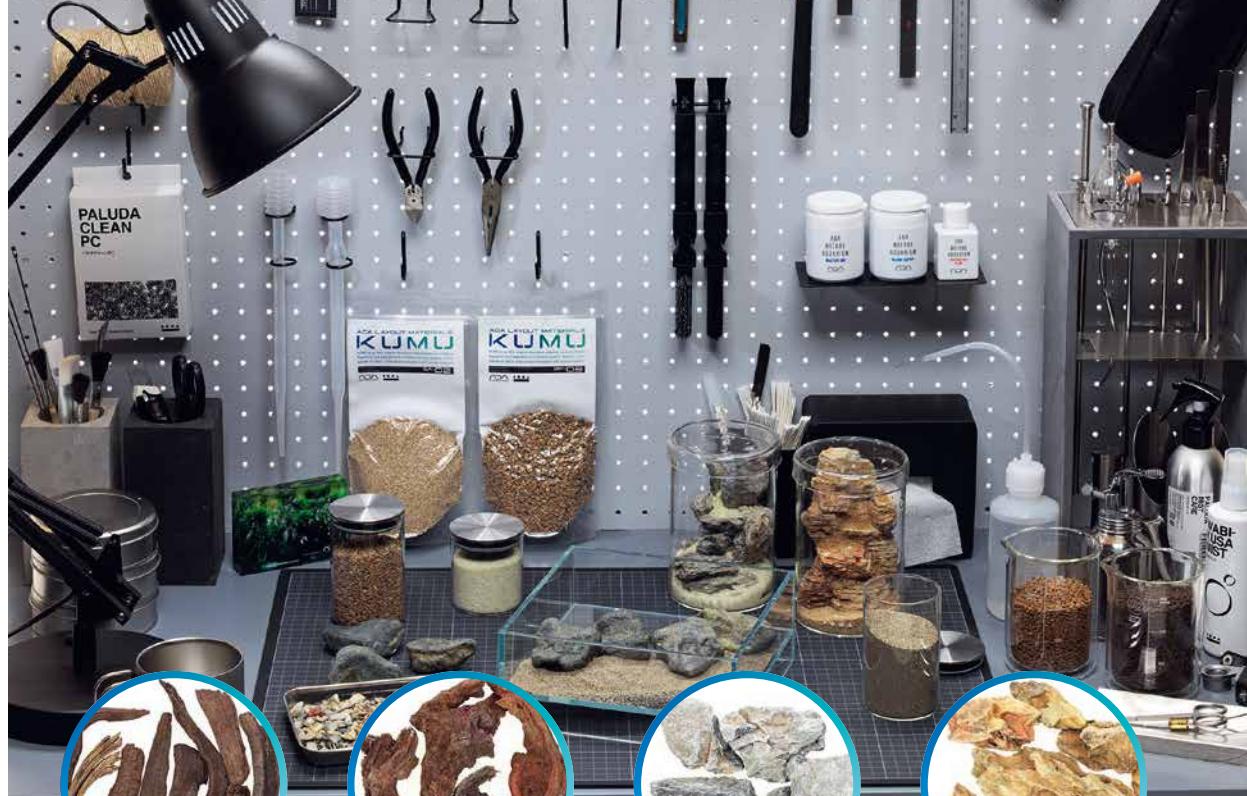


SLIM WOOD S

スリムウッド S

スリムウッドにSサイズが登場。ちょうどホーンウッドとブランチウッドの間のような雰囲気だ。W300mm水槽であればスリムウッドSを3~5本が目安になる。作例では、複数本使い古木のように組んでいる。不安定な箇所はテラテープを巻きつけて固定している。





WO-01 ホーンウッドチップ



WO-02 ホーンウッドピース



ST-01 リュウオウストーン



ST-02 オウコストーン



ST-03 ヤマヤストーン



ST-04 ライケンストーン



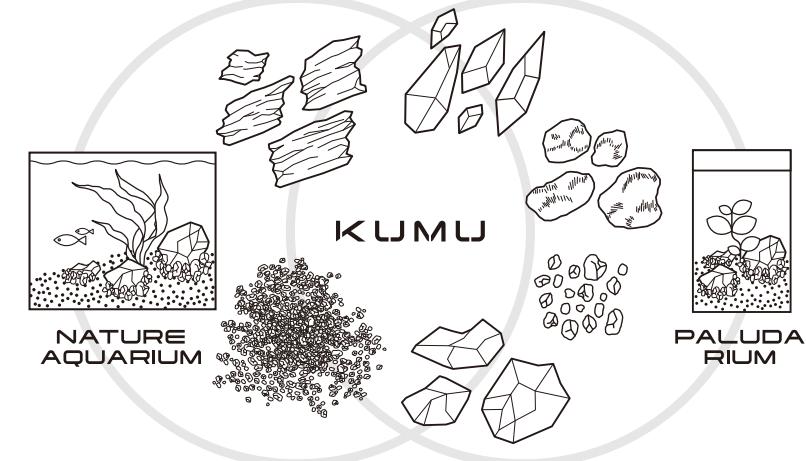
ST-05 ジャグレストーン



ST-06 レッドスレートストーン

自由な発想で、
組み合わせて楽しむ

ADAレイアウトマテリアル「KUMU」は、ネイチャーアクアリウムやパルダリウムのレイアウトに使用する化粧素材です。石や流木、砂、砂利などの複数ある素材ラインナップの中から、お好みの素材を組み合わせることで表現の幅が広がります。自由な発想で組み合わせてレイアウト制作を楽しみましょう。



ST-07 パフレイヤーストーン



ST-08 レッドラバストーン



ST-09 ブラックラバストーン



GR-01 フラットリバーグラベル S



GR-02 フラットリバーグラベル



GR-03 ヘーゼルグラベル S



GR-04 ヘーゼルグラベル



GR-05 メイズグラベル



GR-06 ローズグラベル



SA-01 ブランコサンド



SA-02 アイボリーサンド S



SA-03 アイボリーサンド



SA-04 フロントサンド S



SA-05 フロントサンド



SA-06 バニラサンド



SA-07 ブリックサンド

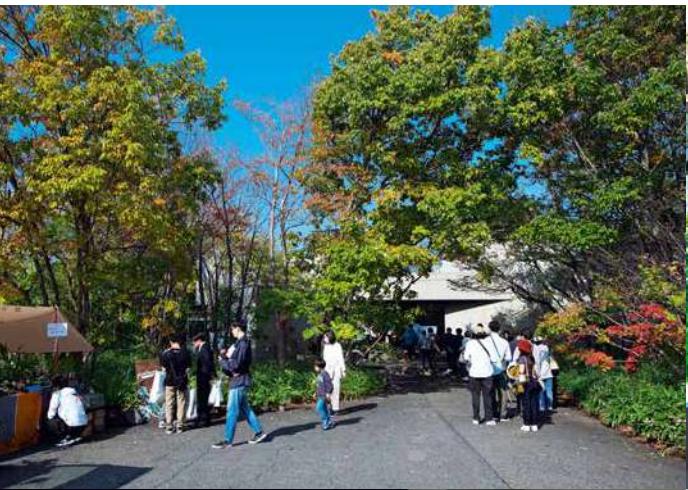
ADA LAYOUT MATERIALS **KUMU**

「ADA 新レイアウトマテリアル KUMU」

ネイチャーアクアリウムやパルダリウムの制作に欠かせないレイアウト素材。ADAでは、2024年初春に自然素材の新製品群として「KUMU」をリリース予定です。「KUMU」は日本語の「組む」が由来。いろいろな素材を組み合わせてレイアウトを楽しんでもらいたいという思いを込めてネーミングされています。パッケージは、素材の形状がわかりやすくクリーンなイメージになるように工夫されているので、店頭で選びやすくなっています。また、WOは流木、STは石、GRは砂利、SAは砂といったカテゴリ別のナンバリングなど、創作意欲を刺激するクラフト感も感じいただければと思います。



「KUMU」パッケージ例



ADA NATURE AQUARIUM GALLERY WELCOME DAY REPORT

「本物の水景だけが持つ水と緑の魅力」

写真・文／編集部

ADAファンが集った特別な3日間

秋も終盤にさしかかる11月3～5日の3日間、新潟のADA本社では「ADA NATURE AQUARIUM GALLERY WELCOME DAY」が開催されました。およそ4年ぶりとなる一般開放に、国内外から約1,800人の熱心なADAファンが訪れました。ギャラリー内にはネイチャーアクアリウムの創始者、天野 尚が制作した石組レイアウトが配石をそのままに残されており、現在活躍する5人のADA水景クリエイターたちの作品とともにお客様をお迎えしました。また、ADA水景クリエイターも常駐し、ADAファンとの楽しい交流の場になりました。SNS全盛の時代で水景の写真や映像があふれているからこそ、ADAは今後もできるだけ本物の水景を通じてネイチャーアクアリウムの魅力を伝える機会をつくりたいと考えています。



展示された作品を前に、ADA水景クリエイターとの交流は終始盛り上がっていました。



实物のネイチャーアクアリウムをご覧いただくことがNAギャラリー最大の存在意義。この日のために新しい水景も多数制作されました。管理スタッフの尽力もあり、最良の状態でお客様をお迎えすることができました。



手軽な水草レイアウトの提案として、今回のウェルカムデーでは小型水槽の展示にも力を入れました。特に初公開の「ミニNAセット150」(写真上)には、興味を持たれた方が多かったようです。



今回の限定Tシャツ。ディスカスヒンダの組み合わせは、天野の名作水景へのオマージュ。



ADAのイベントグッズとしておなじみのピンズも会場で限定販売されました。

限定ロゴ入りマグカップ。ここでコーヒーを飲むとNAギャラリーを思い出す？



来館者に配布されたタブロイド紙『水族譚』。マニアックな内容をお伝えしました。

交流を通してADAの レイアウト技術を理解

2023年10月14日・15日の2日間、南アフリカ共和国のヨハネスブルグで、ADA水景クリエイター荒木大智によるレイアウト制作イベントが行われました。今回のワークショップでは、W1,200、W600 (mm) のネイチャーアクアリウム、システムバルダ60の計3本のレイアウトを制作。アフリカ大陸初のADAイベントだけあって、参加者は南アフリカだけではなく、シンバプエ、モザンビーク、コンゴなどからも来られ延べ140名のADAファンが会場に

集結しました。ワークショップの他にも、天野尚が確立したネイチャーアクアリウムの手法や様式美を解説するセミナーなどもあり、皆さん初めて聞く話に熱心に耳を傾けているようでした。また南アフリカでは停電などが頻繁にあり、電気や水が思い通りに使えないなどのトラブルもあったものの「これが南アフリカさ」と参加された方々は平然とした様子で、日本とは違うアクアリウム事情を知る場面もありました。こうした状況の中でIAPLC出品やネイチャーアクアリウムを楽しんでいる南アフリカの方の熱意を終始感じた2日間のイベントでした。南アフリカは想像以上に熱かった！



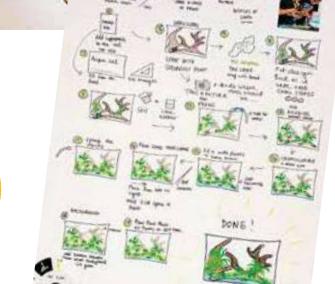
水景クリエイターによるレイアウト制作に対する期待は高く、質疑応答なども含め、終始賑やかな雰囲気で進行してきました。



南アフリカを象徴するグリーンとイエローを基調にデザインされたイベントTシャツ。ADA SPIRITの思いを込めて。



本イベントに協力してくれたスタッフ一同。写真左から前列3番目 ADA近藤、その右隣が代理店<ADA南アフリカ>代表Hitien氏。中央に水景クリエイター荒木、右隣は代理店<ADAインド>代表Adip氏。



参加者の方が書かれたワークショップ内容の
イラスト。熱心さが伝わってきました。感謝！

ADA Workshop REPORT

「ADAがやって来た アッラ！ アッラ！ アッラ！」
～[ADA workshop in South Africa]～

写真・文／編集部



ADAイベントのアンバサダーとして多くの方にご協力いただき、
進行するにしたがい一体感も生まれました。

その場の雰囲気で即興的にレイアウトを仕上げていくが、
基本に忠実なネイチャーアクアリウム制作を披露。

レイアウト制作には現地で流通しているBIOみずくさの森を使用した。

製品プロモーションも兼ねた
パルダリウムレイアウト



アクアスカイRGBIIのプロモーションを行い、パルダライト
の色調で光量調整できる点なども説明。

2日間のADAイベントは大盛況の内に幕を閉じ、南アフリカの地でADAスピリットを共有できた素晴らしい機会となりました。同じ趣味を持つ仲間同士、すぐに打ち解け会場内の雰囲気も最高でした。また何よりも我々ADAスタッフが嬉しかったことは、今回のイベントを企画してくれた代理店<ADA南アフリカ>の方とアンバサダーの方々がADA製品を取り扱うことに誇りを持ってくださっていたことでした。そうした素晴らしい仲間たちとイベントが開催できることに感謝いたします。



#25

パルダにおける 素材と植物の相性

今回は石灰岩地帯に自生するジャングルプランツを主役にレイアウトしました。ここでの特筆すべき点は、中央付近に配したベゴニア・キンギアナがとても健康的に育ったことです。もちろん他の植物も良好に生長していますが、これまで鉢植えやレイアウトに取り入れたベゴニア・キンギアナは、葉数が増えず矮小化したり、大きくて葉柄は柔らかく倒れたりすることがあったので…。今回はレイアウト素材2種を使用し、龍王石を組み石灰岩の斜面を表現し、プランチウッドで鬱蒼とした雰囲気を演出しました。どうやら龍王石とベゴニア・キンギアナの相性が良かったようです。水草レイアウトにもあるように、ジャングルプランツと構図素材にも相性があること知り、パルダリウムの魅力の扉がまた一つ開いた気がしました。

[SYSTEM DATA]

- システムパルダ600
- パルダライト600
- ミストフロー
- ミストフローキャップ
- サーキュレーションファン40
- パワーコード S-70
- 龍王石、プランチウッド
- ジャングルソイル
- ジャングルベース
- 花び草ミスト(毎日朝夕)

[パワーコードS-70設定]

3時間おきにミストフロー15分、
サーキュレーションファン40は
20分稼働

2023年11月14日 撮影(ADA)
レイアウト制作・文 岩堀 康太
©AQUA DESIGN AMANO

[植物]

- エラトステマ・サルビニオイデス
- ソネリラ・カントンエンシス
- ソネリラ sp. ベトナム
- ベゴニア・アンフィオクサス(ジャングルプランツ)
- ベゴニア・キンギアナ
- ベゴニア・リケノラ
- ブリムリナ・シノペトナミカ
- ペトロコスマ・ブベッセンス
- ドッシニア・マルモラータ
- シストーチス・バリエガータ
- コンテリクラマゴケ
- ダバリア・トリコマノイデス
- 白虎ウラボシ
- アラハシラガゴケ
- ウロコゴケ
- プレミアムモス(花び草マット)
- 南米モス(花び草マット)
- ピーコックモス(花び草マット)



#05
Lagenandra keralensis

Text: Yasufumi Shibata



DATA

- Jungle Plants ラゲナンドラ・ケラレンシス 1カップ
- Other Plants BIOみずくさの森 プレミアムモス 3カップ
- Case ネオグラスエア W200×D200×H350(mm)
- Substrate ジャングルベース 200mL
ジャングルソイル 700mL
- Materials 山水石×3

Closeup Point



①葉に散らばる控えめなピンク色のラメが美しい。



②時間経過を思わせるモス類との相性も○。



③細かく波打つ葉縁から野生味が感じられる。

じっくり育てて魅力を引き出す

今回クローズアップしたのはラゲナンドラ・ケラレンシスです。ラゲナンドラの仲間はクリプトコリネなどと同じように時間が経過するにつれて魅力が増していきます。中でもラゲナンドラ・ケラレンシスは比較的生長が緩やかで、じっくりと時間をかけて仕上げたときに見せてくれるピンクのラメが散りばめられた褐色の葉はとても魅力的です。作例では山水石にプレミアムモス(BIO)と組み合わせて植栽し、落ち着いた雰囲気をイメージしました。高湿度を保ったパルカリウムでモスの仲間と一緒に時間経過を楽しみたい水草です。

ラヴ・ADA・グッズ

#17
PRO PICKER

NA・DOOA・生体製品のさまざまなラインナップを展開するADA。ここでは各ジャンルの枠を超えてライターの好きなGOODSを紹介します。



点と線で攻略

藻類の発生、これは水槽で生き物を飼育する上で避けられない現象です。中でもヒゴケやサンゴ状藻類には手を焼きます。プロピッカーはこのような着生藻の排除のための専用ツールです。ご覧のとおり先端はエッジの立った左右非対称のヘラ状でかつR加工も施されています。対象へ垂直に当てることで先端ピークで点の力を、やや寝かせてることで先端全体で面の力を加えることができるため着生基部で的確に除去が可能です。シャープな全長175mmの形状は握り込むことで短距離のアプローチを、指先で掴むことで入り組んだ構造素材へのアクセスを可能とする適度な長さで使い勝手が良く重宝しています。なお力強く擦りすぎると流木はおろか石材でさえ引っかき傷状の跡が残るため、繊細なハンドリングが要求される点でも水景管理のプロのように使いこなす楽しみがあると思います。役割の専門性の高さゆえの水景美化においてプロの名がふさわしいプロピッカーが私は好きです。

Text: Ryuji Ogawa

ネイチャー コラム

NATURE COLUMN

常日頃からネイチャーに身を置くライター、季節ごとのコラムを発信していきます。

A close-up shot of a small, light-colored wooden birdhouse mounted on a dark wooden post. The birdhouse has a small entrance hole and a perch below it. The background is filled with dark evergreen trees and falling snowflakes, creating a cozy winter atmosphere.

新潟県のとある愛鳥施設に架けられた巣箱です。ここでは春になると先ず間違なくスズメが巣穴として使用します。写真のような秋や冬の間は無鳥もとい空き部屋状態が多いです（ハチやテントウムシ、カメムシなど虫の越冬部屋）であつたりもするので正確には空いていないとも言えます（）。樹洞や折れた竹、岩の隙間などをいつた空洞を好んで利用する生き物は野鳥に限らず数え切れないほど存在します。そんな生き物たちの住まいとして巣箱を架けるという活動は身近で自然観察をする良いきっかけと言えるでしょう。もし野鳥に巣穴として使用してもらえたなら毎日毎日観察ができるため大変おすすめです。巣立ち後にでも巣穴跡に好んで侵入する昆虫が見れます。また近年、珍しい甲虫が見つかるなど巣箱から新発見も続々報告されています。保護活動にも繋がる場合もあり、北海道の希少生物シマフクロウなど積極的かつ計

画的に巣箱を活用する地域もあります。市街地でもスズメやムクドリはもちろん、サイズや縦横比を工夫してみるとセキレイ類など思われる利用者が現れるかもしれません。山地や森林が近いところではカラ類やキツツキ類、ある種のヒタキ類など可能性は広がり、かつ大型の物が用意可能であればフクロウ類すら来客してくれるかもしれません。しゃマネやムササビといった哺乳類の使用もあり得ます。自然との関わり方はいろいろな方法がありますが、野生生物に親しみを持つて接するきっかけとなる巣箱は人工物とはいえる自然界の生き物たちの息吹を知る有用な架け橋となるツールと言えます。人の活動が自然や生き物たちにとってポジティブにもはたらくことをぜひ体感してみてください。おすすめは秋から冬の架設ですので巣箱をつくって架けるには少々時期が遅りますが、葉の落ちた冬季に樹洞探索や春の巣穴ボイン트を探しにネイチャーハンター에게かけてはいかがでしょうか。

「箱を架け橋に」

第 34 回

文・写真／小川 龍司

INFORMATION —



NATURE AQUARIUM GUIDE W600

小冊子『NATURE AQUARIUM GUIDE W600』を全国のADA販売特約店にて配布いたします。新たにW600mm水槽でのレイアウト制作工程を中心に、アクアスカイ RGB IIなど最新のADA製品による水景のつくり方を紹介したガイドブックです。新しい水景の創造にお役立てください。



キューブガーデンユーザーの皆様へ、
より長く水槽をお楽しみいただくためのチャンスです。

CUBE GARDEN 買い替えキャンペーン。

2023年12月8日(金)～2024年3月31日(日)

キャンペーン対象：購入から3年以上経過したキューブガーデン

ネイチャーアクアリウムに最適なスタンダード水槽として長年に渡り、ご愛顧いただいているキューブガーデン。シリコン接合部については3年間の品質保証を行っておりますが、水槽の寿命は永久ではありません。長年キューブガーデンをご愛用いただいているユーザーの方を対象に特別価格にて新しいキューブガーデンへ買い替えていただくキャンペーンを行います。今回の「キューブガーデン 買い替えキャンペーン」は、W450×D270×H300 (mm) 以上の水槽への買い替えを対象とさせていただきます。

また小冊子『NATURE AQUARIUM GUIDE W600』の配布につき、各製品カテゴリーのフラッグシップモデルへの買い替えキャンペーンを12月下旬より開始いたします。どうぞご期待ください。詳細については、右記のQRコードよりアクセスください。



STAFF CREDIT

AQUA DESIGN AMANO CO.,LTD.
©2023 Printed in JAPAN

Publisher Art Direction

天野 しのぶ NATURE AD DESIGN 丸山 悟司／市川 寛／高遠 将史／板橋 広夢
Editor 杉本 俊輔／岩堀 康太／柴田 康文／小川 龍司／沓澤 亮介
総監修・大室 利則／宣傳監修・阿部 正輔

De

DESIGN 丸山 悟司／市川 亮／高遠 将史／板橋 広夢
／柴田 康文／小川 龍司／沓澤 亮介
（部 正敏

Published by
株式会社 アクアデザインアマノ
<https://www.adana.co.jp>

Printed by
株式会社山田写真製版所

NEXT AQUA JOURNAL

February 2024 vol.340 / 2024年1月10日(水)発売予定

アクアジャーナルの情報は一部、
ADAホームページで公開しています。



IAPLC2023 World Ranking 1 Zhemin Fan People's Republic of China



IAPLC2023 World Ranking 2 Gang Zhao People's Republic of China



IAPLC2023 World Ranking 3 Josh Sim Malaysia



IAPLC2023 World Ranking 4 Nobphacha Yimyou Thailand



IAPLC2023 World Ranking 6 Philip Schwarz Austria



IAPLC2023 World Ranking 5 Carlos Souza Brazil



IAPLC2023 World Ranking 7 Minh Tran Duc Vietnam

Journey to new origins

まだ見たことのない創造へ

IAPLC 2024

Application period 2024.4.1 MON — 5.31 FRI

GRAND PRIZE JP ¥1,000,000- Free application fee

世界水草レイアウトコンテスト2024

石井順郎 2024年4月1日(月)-5月31日(金) グランプリ賞金 100万円 出品料無料

Cosponsored AQUA JOURNAL(Japan) / AQUA LIFE(Japan) / AQUARIUM's(France) / aquaristik(Germany) / Practical Fishkeeping(Great Britain) / The Aquatic Gardener(U.S.A.) / TROPICAL FISH HOBBYIST(U.S.A.) / The Fishkeeper(South Africa)

共催専門誌

IAPLC
AUTHORIZED
CONTESTS
IAPLC公認コンテスト

